

Javaの障害をスピーディに解決!



Javaアプリケーション
障害解析支援ツール

Excat
for Java



株式会社アイ・プライド

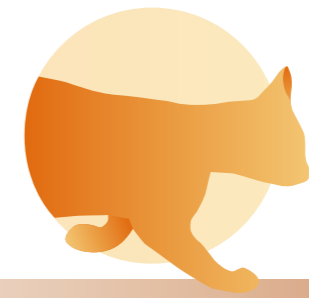
Javaアプリケーション障害解析支援ツール

障害発生時、

適確に情報取得

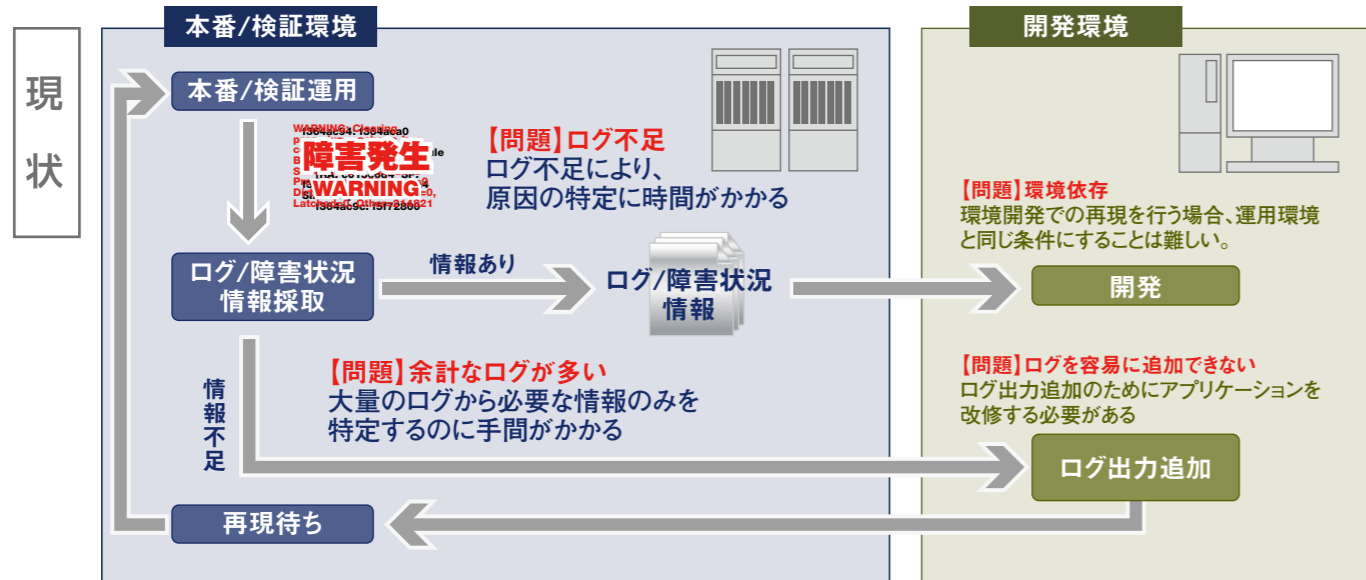


し、ビジュアルに表示



Excat
for Java

適確に情報取得



Excatを適用すると…

解決

設定したトリガー条件 (例外、メソッド呼出) の発生ならびに外部シグナルを契機に、スタック情報、メソッドのパラメータ、ローカル変数、インスタンスを瞬時に取得。

障害解析時の問題点	Excat 適用効果	
ログの不足	監視対象の例外やエラーが発生した時点で、該当スタック・トレース及び関連するオブジェクトのスナップショットを取得します。メソッドの引数、オブジェクトの属性や変数、コレクションの中身まで取得できるため、「デバッグログが足りない!」という状況にはもうおちいりません。	障害再現までのコストを大幅に削減!
環境依存	データ、設定条件、システム構成、発生タイミングに依存して発生する障害に対し適確な情報取得ができます。	開発環境での再現を待たずとも、原因特定の可能性が高まります!
ログを容易に追加できない	監視対象の設定はいつでも自由に変更できます。ログ出力のコードを追加したモジュールを本番検証環境に再リリースするといった作業は必要ありません。	APサーバー再起動不要で容易にログの追加が可能!
余計なログが多い	監視対象の例外やエラーに関連する情報だけがスナップショットに保存されるので、大量のログの中から障害のログだけを特定して抜き出す作業はもう必要ありません。	余計なログから解放され、より原因特定が容易に!

ビジュアルに表示

Excatのビジュアル表示機能:

- スタック・ビューア**: 例外発生時のスタックトレースを視覚的に表示。
- ダンプファイル・ビューア**: 発生時のメモリダンプファイルを開き、変数やオブジェクトの状態を確認。
- ソースコード・ビューア**: 発生した例外の位置にコードを自動でスクロール表示。
- プロパティ・ビューア**: オブジェクトのプロパティを詳細に確認。

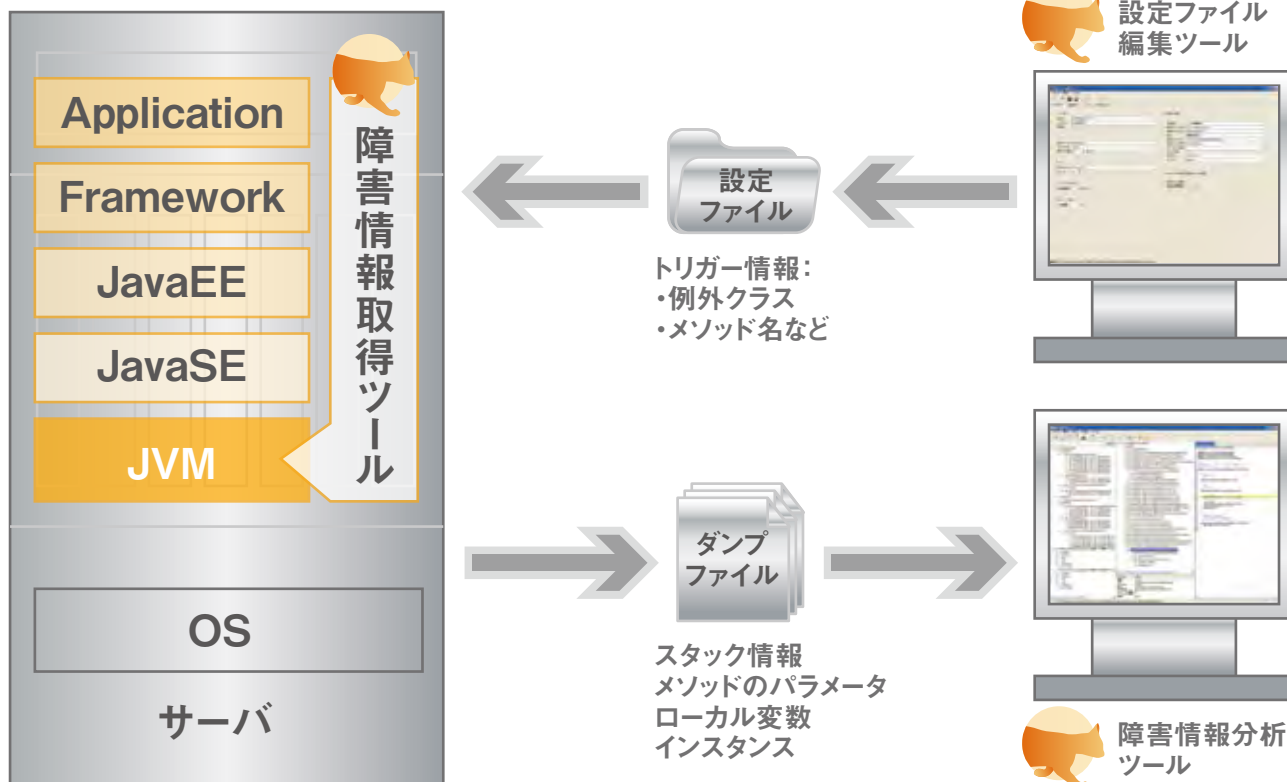
※ソースコード、もしくはバイトコードとの対応表示

その他の特長

- 情報取得時に指定したメールアドレスへ障害を通知できます。
- 取得した情報をPDFファイルへ書き出し、または印刷することができます。
- パフォーマンスへの影響が少ないため、高負荷環境への適用も可能です。



Excata for Javaの構成と動作イメージ



適用環境

障害情報取得ツール

以下のプラットフォームで稼動可能です	主に以下のWebアプリケーションサーバ ^{*1} をサポートしています
Microsoft Windows (CPU: x86 32/64bit) Linux (CPU: x86 32/64bit) Sun Solaris (CPU: SPARC, x86) HP-UX (CPU: Itanium 2) IBM AIX (CPU: POWER)	Cosminexus Oracle Application Server Interstage Adobe ColdFusion Weblogic Tomcat WebSphere ^{*2} JBoss

※ 1:Java 1.4.2以降。

※ 2:WebSphereに適用する場合、パフォーマンスの影響があります。本番稼動環境への適用をお勧めしません。

設定ファイル編集ツール&障害情報分析ツール

以下のプラットフォームで稼動可能です
Microsoft Windows / Linux JRE 1.4.2以降

※ 本パンフレットの内容は予告なく変更することがあります。

※ その他、本パンフレットに記載されている会社名や、製品名等は、各社商標または登録商標です。

※ この記載内容は 2008 年 12 月現在の情報です。



株式会社アイ・プライド

〒104-0041 東京都中央区新富2丁目4番4号 アクアビル8F
 TEL. 03-5541-8328 / FAX. 03-5541-8320
 e-Mail : ipride_info@ipride.co.jp

販売代理店